

晴れの日には太陽を、雨の日には雨水を利用 ～流山市幼児教育支援センター附属幼稚園～

千葉県流山市にある流山市幼児教育支援センター附属幼稚園では、2016年9月の「そらべあ発電所」の寄贈を機に、発電量が表示されるカラーモニターを園児たちの目の届く壁に設置。「おひさまは今日どれくらい電気を作ってくれているかな？」と、みんなで確かめることで、地球を暖かくするガス(CO₂)を出さない自然エネルギーの優れた点を子どもたちに話しています。とくに、天気の良い夏の日などは、強い太陽の力が電気をたくさん作ってくれることを、子どもたちも理解してくれているようです。

また、太陽光発電は、雨天ではあまり発電しないけれど、そんな日には、園庭の雨水を貯めるシステム

を使って花壇の水やりにも使用。「晴れの日も、雨の日も、自然の恵みを上手に利用することが大切ねと、子どもたちには教えています」と、園長の木曾啓子さんは話します。

また、木の実や落ち葉を使ってリースを作ったり、小さくカットした古新聞を使って、お弁当の食べこぼしを自分たちで掃除したりと、不要になった物でも工夫すれば利用できることを伝えています。

同園が実践しているこのようなエコアクションが、未来のより良い環境づくりにきつと役立っていくことでしょう。



「そらべあ発電所」の発電量を園児たちも確認できます

小さくカットした古新聞で…

木の実や落ち葉で作ったリース

…ゴミは自分で片付けます

雨水を使って花壇に水やり

そらべあ基金事務局のつぶやき



北極の氷だけじゃない。アルプスの氷も消滅の危機?!

有名な観光地スイスを代表するアルプスの美しい風景が、地球温暖化によって危機にさらされています。ずっと解けることのなかった氷河が、19世紀頃に比べて半減していることがわかり、このまま何もしなければ2100年頃にはほぼ消滅してしまうそうです。また、アルプスだけでなく、ノルウェーやカナダ、ヒマラヤ山脈など、世界各地の氷河も、ここ数十年で大きく後退しているのですから大変です。

そらべあ基金では、幼稚園/保育園での贈呈式典や小学校の環境授業など機会あるごとに、北極の氷が解けてしまい、「そら」と「べあ」が泣いているお話をしていますが、北極だけでなく世界中で地球温暖化の影響が出ているのですね。これ以上、不幸な出来事が起きないように、温暖化を防ぐ手だてを早急に考えていく必要があります。

そらべあサポーターズクラブ

プレミアムサポーター：ソニー損害保険(株)
オフィシャルサポーター：ソニー生命保険(株)、(株)Forchile
サポーター：(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、(株)毎日新聞社
応援団：6社
個人・ファミリーサポーター：29名
(2017年12月7日現在)

読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。



そらべあ便り vol.33

2017年12月発行
編集：青木一夫
デザイン：草薨聡子

NPO法人 そらべあ基金
〒105-0004
東京都港区新橋2-5-6
大村ビル8F
TEL：03-3504-8166
FAX：03-5157-3178
http://www.solarbear.jp

そらべあ便り

Solarbear Newsletter | Vol.33

2018年も
そらべあと
スイスイ!



© Shinzi Katoh

www.solarbear.jp

小学生向けにイベントや授業で 環境ワークショップを開催

すっかり寒くなってきましたが、今号では、この夏・秋に、そらべあ基金が小学生向けに開催した3つの環境ワークショップについてお伝えします。

ワークショップの内容は「地球温暖化」と「自然エネルギー」の理解を深め、未来を担う子どもたち

がどんな社会にしたいのかを一緒に考えるもの。クイズや発電実験を交えながら楽しく学び、「オリジナルソーラーLEDランプ」の工作にも挑戦してもらいました。

こんなランプを作ったよ!



今年で7回目、「学びのフェス2017夏」

8月2日(水)、「学びのフェス2017夏」(主催:毎日新聞社・毎日小学生新聞)に出展しました。約30の企業・団体・学校による出前授業やワークショップが盛況に行われ、会場の科学技術館(東京都千代田区)には小学生とその保護者など、およそ1,800人が来場して賑わいました。

そらべあ基金のブースでは、合計42名の小学生が参加してくれました。中には、昨年に引き続き、参加してくれたリピーターも。7回目の継続的な出展で、そらべあ基金の小学生ファンが増えてくれて、とても嬉しいです。

参加者アンケートでは「いろいろな知識を学びながらもものづくりをすることが楽しかった」「前回楽しかったので今回も参加しまし



高校生スタッフも参加してくれました

みんなの学校にそらべあがやってきたよ!

東京都大田区立池雪小学校「夏休みわくわくスクール」

「夏休みわくわくスクール」は、夏休み期間中に子どもたちにさまざまな体験をしてもらおう場としてPTA主催により毎年開校されており、スポーツ、伝統文化、音楽、料理など、さまざまなジャンルから約30講座が開催されます。今回初参加のそらべあ基金の講座は前人気も上々だったようで、たくさんの応募があった中、合計70名の子どもたちが参加してくれました。

参加者アンケートでは、「80年後くらいになると気温がものすごくかわるかもしれない、という

ことにおどろきました」「わたしたちのせいで、ちがう動物がぜつめつのききだということがわかりました。これからの未来は温だんかにならないようにいろんなことに努力したいです」「楽しかったです。テーマの『自然エネルギー』が日本でもふえるといいです」などがあり、今後もこの活動を通じて、子どもたちと一緒に未来を考える時間を持つ必要性を感じました。この講座に関わってくださったPTAの皆さま、ありがとうございました!



LEDと白熱電灯の発電実験



そらべあどふれあう子どもたち



埼玉県越谷市立大袋東小学校「授業発表会」

10月27日、越谷市立大袋東小学校で行われた「授業発表会」に、そらべあ基金がゲストティーチャーとして参加し、市内の先生方が見学されました。同校はESD(持続可能な開発のための教育)に熱心に取り組んでおり、子どもたちの豊かな学びの環境づくりを実践しています。当日は、1~6年生まで縦割りで構成された6グループ36名の子どもたちが参加。はじめに、先生から「環境」と「協同」をテーマとした学年別/個人別のめあてを確認してから、そらべあ基金にバトンタッチしていただき、ワークショップを実施しました

後日寄せられた感想では、1年生は「LEDランプがじょうずにつくれてよかった」、3年生は「自然エネルギーが大切だということがよくわかり自分の目標を達成できて嬉しかった」、6年生は「地球温暖化についてさらに知ることができた」、「もっと地球やエネルギーを大切にしたい」、という声が寄せられました。私たちNPOと学校が連携することで、子どもたちには普段と違った角度や環境で学習機会をつくることができました。大袋東小学校の先生方、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

最後に、参加してくれた小学生のみなさん、これからも一緒にそらべあを止めるために協力してくださいね。20年後の未来は、地球温暖化の心配のない世界を作っていきましょう。



先生とそらべあ基金が協同して授業を行います。





©Shinzi Katoh

1

2

3

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						